

一般診療所における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	患者のベッドからの移動をするための行為中、バランスを崩し、床に手からついた時に右手親指を痛めた。	30~99	50
1	0~1	耳鼻咽喉科で使用する金属綿棒に綿花を巻きつける作業を長期に亘り続けていたため、右手指・右手首等に過大な負荷がかかり、痛みが急激に強くなった。	40	—
2	10~11	仕事中に小走りで移動した際、右ふくらはぎにバーンという音と衝撃を受け、その後、歩行が困難になった。	46~29	10
2	10~11	カルテ棚の整理中、左足首を捻ってバランスをくずし右膝を床に打ちつけた。	61~9	1
7	11~12	当クリニック内のトイレに於いて、意識を失い倒れた患者を運び出すため、バスタオル等を使ってその場から運び出そうとした際、不自然な体勢だったため腰に負担がかかり負傷した。	54~9	1
7	18~19	工場内にて、団子の生地の入ったタライ（50kg超）を持ちあげたところ、腰と背中に痛みを感じた。	54~29	10
7	11~12	当院内視鏡室に於いて、患者様（下半身麻痺で全介助が必要な方）の処置台のベッドから車椅子への移乗介助中、被災者が前傾姿勢をとっていたところへ、患者様の全体重が一気に腰部にかかり、腰から背部への痛みと下肢の痺れを感じた。	54~49	30

7	20～ 21	夜間外来消灯、見回りのための巡視時に、右足を捻った。その後、疼痛と腫脹がひどくなり、クーリングと湿布をしたが、翌日受診し、右第5中足骨骨折と診断された。	65	～ 49	30
9	9～ 10	当院駐車場にて、車から降りた利用者男性を室内に誘導していたところ、利用者男性が転倒しそうになった、支えようとしたが、支えきれず一緒に転倒した。	38	～ 49	30
11	0～1	病室で、下半身不自由で常時車椅子で移動される患者様をベッドから車椅子へ、同僚の看護師と一緒に支えながら移乗する際、本人の腰に痛みが走り、その後動くことが出来なくなった。本人はその後救急搬送された。	70	～ 29	10

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html